

Weekly Michael's News



2017年11月20日発行 No.55

<今週の聖句>

『「天の国はまた次のようにたとえられる。ある人が旅行に出かけるとき、僕たちを呼んで、自分の財産を預けた。それぞれの力に応じて、一人には五タラント、一人には二タラント、もう一人には一タラントを預けて旅に出かけた。』
(新約聖書 マタイによる福音書 25:14~18)

<「秋のチャペルウィーク」開催!! 現代社会の闇と私たちの持つ力を通して「命」を見つめる!!>

先週からチャペルは多くの一年生の姿で賑わいを見せています。その理由は、キリスト教センター主催の「秋のチャペルウィーク」が開催されているからです!! 春にも基礎ゼミの時間を頂戴して、KIUの根底に流れる大きな力、キリスト教に関するガイダンスをさせて頂きましたが、この秋はもう少し視野を広めて、私たちの『命』（これもキリスト教の重要なテーマです）を主題にお話をしています。児童や高齢者の虐待、痛ましい殺人など『命』を軽視するような事件が後を絶たない現代社会。しかしそのような闇の力に対してしっかり打ち勝つ力、人間だけが持つ隣人と繋がろうとする姿勢や生き様を改めて見直しています。今週も木・金のⅠ・Ⅱ限に開講予定です。学生だけでなく、職員の方々でも、もし関心がおありのようでしたら、ぜひチャペルまで足をお運びください!! (^o^)/”



大勢の学生にチャペルも喜び!?



テーマは「命」でお話をしました



集中して受講する留学生の姿

<あなたの歌声が今年のクリスマス礼拝を救う!? 聖歌隊緊急メンバー大募集中です!!>

11月も早いもので気が付けば後半戦。水面下では今年のクリスマス礼拝の準備が行われています。ただ、そこには頭を悩ませる大きな問題が…。クリスマス礼拝で美しい歌声を披露してくれていた聖歌隊（学生&教職員有志で構成されていました）が大きな危機を迎えているのです!! というのも主力メンバーであった女性ソプラノグループがリハビリテーション学部の3年生という事で、その時期に行われる臨床実習のために聖歌隊メンバーが激減…汗

そこで、現在キリスト教センターでは、聖歌隊メンバーを緊急募集中です!! 12月6日（水）17:00~のKIUクリスマス礼拝で、聖歌隊活動に協力してくれる人（この時だけでも構いません!!）はぜひキリスト教センターまでご一報下さるか、毎週火曜日の12:35~の練習にご参加下さい!! あなたのその小さな取り組みが、2017年のクリスマスをこれまでと違った素敵なものにしてくれることをお約束いたします!!



皆さんの参加を心からお待ちしています!!

<先週のメッセージ>

※ここでは実際に話されたお話の要約を掲載しています。

11月6日(月) テーマ:「親父がハンドルを手放す日」

野間 光顕(チャプレン)

高齢者が判断や操作のミスから交通事故を引き起こすケースが後を絶たない。90歳になる私の父も、先日選挙の投票に近くの小学校へ出掛けの際、運転操作を誤り車の後部を大破させてしまった。不幸中の幸いであったのが、バックで駐車していた事で歩行者との接触が一切無く、後ろに植わっていた大きな桜の木にぶつかっただけだった。その事実を聞いた教会の牧師は、父に向かって次のように語りかけた。「誰の怪我も無くて本当によかった。もしかしたらその桜の木は、お父さんにとってイエス様かもしれませんね…。」言葉の温かさやユーモアが、抗う事のできない老いの前で、凝り固まっていた父の心を癒した事を思う時、その時々には掛ける一言の力の大きさを改めて考えさせられる。

11月7日(火)

この日は音楽礼拝で、オルガニストの伊藤純子先生演奏に耳と心を傾けました。

現在、聖歌隊ではクリスマス礼拝に向けて協力してくれる人を大募集中です!! 歌が好きな人、今年のクリスマスに何か新しいことを始めてみたいと考えている人、初心者でも構いません!! 関心のある方はキリスト教センターまでご一報下さい!!



11月8日(水) テーマ:「中世ヨーロッパの大学と授業改善アンケート」 小林 俊博(リベリテーション学部)

世界で最初の大学はイタリアのボローニャ大学(「母なる大学」と呼ばれる)であり、ダーウィンやコペルニクス、ガリレオなど壮々たる面々が研鑽を積んだ事で有名だ。特筆すべきは「学生の自治」と「学びに対する熱心な姿勢」だ。国や教会の持つ巨大な権力に抵抗するため、学生の代表(当時はこれを「学長」と呼んだ)を定めて法学や神学・聖書学、医学を学んだ。学費を払った学生が教師を集め、不十分な授業であれば減給や解雇等が行われた。教員側も不当な対応には組合(これが「College」の語源となる)を作って抵抗した。これらの活動の基本は、自分の意見を確かに表明する事だ。現代では「授業改善アンケート」が行われているが、これを有意義な機会として大切にしたい。

11月9日(木) テーマ:「基礎の重要性」

中西 亮介(リベリテーション学部)

「人間の基礎」と言われると遺伝子等を想起する人がいるかもしれないが、今日お話ししたい「基礎」は「人間力」だ。文科省からも提唱され、また最近社会でも重要視されているこの「人間力」を分析すれば「基礎学力」と「コミュニケーション能力」、そして「忍耐力」の3つに分けられ、特に後述の2つは、本人の性格が大きく作用しているように思われる。では、「性格」はどのようにして培われるのだろうか? 「遺伝である」とする説や「環境によるもの」とする説など様々だが、今の自分の中では「環境」に起因する部分が大きいように思う。自分の成長のために環境が整えられていることに感謝し、与えられた出会いを蔑ろにしないで自分の糧に繋げる…そんな歩みを共に積み重ねたい。

11月10日(金) テーマ:「歌の力」 野間 光顕(チャプレン)

「歌」には力がある。いや正確には「歌う」という行動によって、人は自らの根源的力を呼び覚ます事ができる。旧約聖書の「詩編」には、今から何千年も前に歌われた150曲もの歌が記録されている。ある時は自分たちに神の豊かな祝福が下ったという大きな喜びを、ある時は絶望の淵を歩まなければならない悲しみを。そんな様々な感情を昔から人は歌に表わしてきた。KIUも開学以来約半世紀の間、昼礼拝において毎日歌い続けてきた。昼の礼拝。それは昼休みを挟んで午前中の働きや学びを午後には繋げる機会だ。その力を増す為にも皆で聖歌を大きな声で歌いたい。(文責:野間 光顕)